

日本労働年鑑 第26集 1954年版
The Labour Year Book of Japan 1954

第三部 労働政策

第五編 失業対策

第二章 産業開発青年隊

産業開発青年隊運動の提唱と実践の開始

農村の潜在的失業人口——農家次三男問題が深刻化するや、この対策として政府、青年団等を中心に産業開発青年隊運動がとりあげられ、今年度より山形県はじめ全国各府県で実施されるにいたった。以下中央、地方における青年隊運動の動きを記述する。

一九五〇年六月、日本開拓協会、日本青年館、開拓自興会、全指連、海外移住協会等が、農林、文部、厚生各省の援助の下に、農村二三男対策中央協議会を結成した。そしてこの年一二月、同協議会は、国土復興の実践運動として「産業開発青年隊」を提唱し、その方法として各県の開拓課、社会教育課の援助指導のもとに、青年団を主体として運動を推進することを決定した。

一九五二年五月の日本青年団協議会第二回全国大会では、「産業開発の青年運動」展開を決議したが、同七月には農林省と日本青年協議会、二三男対策協議会の三者会談が開かれ、いよいよ具体的に話が進み、政府は法案を準備し予算措置を講ずる段階に入った。

五二年九月には、建設省当局が「産業開発青年隊の組織その他に関する法律」案を立案したと報ぜられたが(毎日新聞九・一九)その法案の骨子は、「十七才から二五歳までの未婚の青年男女で青年隊を編成、産業開発、国土総合開発事業に従事させるとともに、その間技術教育を中心とする各種教育を行って、社会人としての素質技能の向上をはかる」というのである。同紙に報ぜられた建設省案の内容は次のとおりである。

(建設省案)

五三年度は試験的に九五〇〇万円の国庫補助で五十のキャンプ、五千人の青年隊を組織し、将来は、約四〇〇万人と推定されてている潜在青少年失業者の五%にあたる二十万人程度をこれに動員する。

右の構想にもとづく法案の上程は、五二年度中はずいぶん実現しなかったが、自由党政調会長は総選挙の公約において、産業開発青年隊運動に賛意を表明した。しかし建設省案に対しては、これが右翼運動に発展するとして反対を表明した新聞論説もあり、労働組合方面でもその性格、将来の動向を警戒して一般には反対の意見が強かった。たとえば総評高野事務局長はつぎのように語っている。「この産業開発青年隊は一般的な産業開発を目指しているとは考えられない。この考え方には新国軍のにおいが多分にある。……やはり再軍備への一つの捨石になるのではなからうか」(毎日新聞五二・九・一九)。

産業開発青年隊は、アメリカの民間資源開発保全隊C・C・Cの構想をモデルにしたとも報ぜられたが、それが実はヒッラー・ユージェントの実質をもつのではないかとの疑もあり、建設省計画局長自ら「右翼に利用されるおそれがあるので、厳戒せねばならぬ」と語っているほどである(同上)。

産業開発青年隊運動には、まだ明確な思想的性格は表面に出でいないが、山形県野川ダムを現地調査した報告「産業開発青年隊現地報告」(全農林労組機関紙「壁」第四号五二・八)によれば、次の二つの「考え方」があるという。

一つは、この運動の県内班の主体たる連合青年団のそれで、「要するに産業開発青年隊は一、職場、二、即時即物教育の場、三、新しい青年運動の三つの要素をもった革命的な運動である。この極めて抽象的な青年隊「理念」の中に、われわれは、強い現状打破の要求と国家社会主義的な反動的要素とを見出すことができよう」(同上六一頁)。

第二の考え方は、旧満洲開拓移民論で、北海道への移民を重視している。「庄内開拓協同組合のS氏は……農村厚生協会あたりとつながりをもっており、石黒忠篤氏あたりの信任もあついようだ。満洲移民で一躍雄名を馳せた西田川郡Y村のT氏らと手をたずさえて庄内農村の二、三男坊の北海道送りに狂奔している。」(同上六二頁)。

なお右の報告によれば、山形の青年隊の出身調査から、この運動が「中農的性格」をもっていると結論されている。すなわち山形県産業開発青年隊員の出身は次の如くである。

専業農家	一七
非専業農家	五
商業	一
工業	一
無職	五

また農家階層は以下のとおりである。

三町以上	二
三町—二町	三
二町—一町	九
一町—五反	八
五反以下	一

さて一九五二年中に、実際に産業開発青年隊またはその運動主体たる次三男対策協議会が結成され、運動の進められたところは、山形、青森、秋田、北海道、宮城、新潟、福島、静岡、石川、和歌山、三重、兵庫、島根、香川、愛媛、大分、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島等であり、ほかに富山、山梨、岐阜、滋賀、岡山、山口等の諸県でも具体的な活動期に入っている。

日本労働年鑑 第26集 1954年版

発行 1953年11月20日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

****年**月**日公開開始

